

補習校だより

～先生たちが交代で、補習校での出来事をお伝えします～

小学部3年生クラスの担任で、教科書クラスの授業を担当している平林です。第2号の今回は、9月12日に行った避難訓練についてお伝えします。1学期には、「不審者」を想定した避難訓練でしたが、2学期の今回は「火災」を想定して実施しました。当日の朝の会では、非常ベルの音や、避難するときの大事な合言葉「おかしもち」（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない）を確認しました。

避難訓練の様子

1. 非常ベルの音を聞き避難



「おかしもち」を守って、みんなが安全にスムーズに校舎の南側に集まる事ができました。

2. 校長先生のお話



校長先生からは、「昨年度よりも、より早く集まる事が出来た。」と褒めていただきました。

3. 大使館の方からお話



在カンボジア日本国大使館の警備担当官からは、カンボジアの交通事情や、危険な事への対処法を教えてくださいました。

4. 消火器訓練（小中学部対象に実施）



リキクラセキュリティの方に、消火器の使い方をおしえていただきました。まずは水の入った練習用の消火器を使って高学年のお兄さん、お姉さんが火がついていると想定して練習をしました。



次に、実際に火をつけて、本物の消火器を使い、保護者代表の方、中学生のお姉さんが実践しました。火元の周辺から徐々に消火していくと良いそうです。消火器から出た煙で目の前が真っ白に。



みんな、実際に、消火器で火を消す練習をじっくり真剣な眼差しで見えています。普段何気なく教室に置いてある消火器について学ぶ良い機会となりました。

改めて、いざという時に大切な事や、気をつけるべきことを考えさせられた、火災の避難訓練でした。